

今回は津山城の天守（「天守閣」と呼ぶのが一般的ですが、ここでは学術用語である「天守」に統一します）について検討します。

ご承知のように天守といえば城内最大の高層建築であり、その城郭のシンボリックな存在です。そこでこの天守について、近世城郭における天守建築の変遷を見ながら、その時代的位置付けや建設された背景を考えてみます。

日本の城郭で最初に本格的な天守が築かれたのは織田信長の築城した安土城で、天正7年（1579）のことでした。この天守は望楼型と呼ばれる入母屋造りの建物を基部として、その上に望楼（物見）を載せた形で、外見は重厚で構造的には非常に複雑なものでした。

このような形になったのには理由があります。この当時は、天守が建つ天守台上面の形を正確に矩形（正方形や長方形）に築く石垣技術がなかったため、天守の1階の平面はそれに合わせてゆがんだ形とならざるを得ず、そのゆがんだ平面を最上階で矩形に整えるためには、この望楼型が適していたのでした。

一方、関ヶ原の戦い以降、石垣築造技術が飛躍的に発展し、天守台の平面を矩形に整えることが可能になると、今度は構造的に単純で洗練された外観の層塔型と呼ばれる構造の天守が建築されるようになりました。その始まりは、慶長13年（1608）、藤堂高虎により築かれつつあった伊予今治城の天守であったと思われます。さて、津山城の天守はというと、写真で見られるように5階建てで最上層の屋根以外には破風を全く持っていません。この簡素で質実剛健な姿は初期の層塔型天守の特徴であり、前述の伊予今治城や丹波亀山城、津山城を築くときに参考に

津山城百聞録

46 津山城の天守 1



津山城復元模型の天守(津山郷土博物館蔵、右は備中櫓)

したといわれる小倉城などに見られます。

津山城天守が造られた時期は明確ではありませんが、慶長末年（1615）ごろには遅くとも完成していたものと思われる、層塔型天守としては初期の段階に位置付けられるものです。つまりこの天守を築くにあたり、森忠政は最新の石垣築造技術と最新式の天守の構造を採用したのです。津山城築城にかかる忠政の並々ならぬ熱意が伝わってくるようです。

ちなみに津山城天守の大きさは、江戸時代の文献によると現在のメートル法に換算して東西19.7メートル、南北21.7メートル、高さ22メートルで、石垣を含めた高さは約27.9メートルとなります。この大きさは江戸城や大阪城などと比較すると小さいのですが、一般的な5層の天守としてみれば最大規模のものなのです。

ところでその後の天守建築ですが、津山城を代表とする初期層塔型天守の装飾を廃した質実剛健さはどうも日本人の好みに合わなかったらしく、元和年間以降に造られた天守は、層塔型ではあるものの、備後福山城などに見られるように構造とは関係ない装飾のための破風（千鳥破風・唐破風など）が付けられるようになります。

参考文献 三浦正幸「城の鑑賞基礎知識」

今年の目標は減量に挑戦すること。年とともに蓄積した脂肪は私の体積をどんどん増やし、衣服をむだにしています。さらに昨年6月からの禁煙の影響が食べ物がうまいのなんの。早く手を打たないとたいへんなことになりそう。(郁)

雪の日の朝、何度も転びそうになりながら、市役所歩いて向かっていると、休みの日なのに工業高校の野球部のみなさんが歩道の雪かきをしてくれました。ありがとうございます。今年がみんなにとってもいい年でありますように。私は(郁)さんとダイエットに励みます。(e)

新年、あけましておめでとうございます。今年はいよいよ津山城築城400年を迎えます。春から平成17年春までの400日間、多彩な行事があり、広報も1年を通してとても忙しくなりそうです。機動力を発揮するため、今から体力づくりに励もう。(ひ)

編集後記

今月の納税

市県民税 4期
国民健康保険料 6期
介護保険料 8期
納期限：2月2日(月)

ひとの動き

(12月1日現在)
人口 90,142人(前月比+24)
男 42,965人(同+19)
女 47,177人(同+5)
世帯数 34,890世帯(同+24)

11月中の異動数

出生 73人、死亡 66人
転入 216人、転出 199人



編集・発行 津山市企画部行政広報室
〒708-8501岡山県津山市山北520
☎0868-23-2111(代) 32-2029(直通) ☎0868-25-0263
Eメール kouhou@city.tsuyama.okayama.jp
津山市ホームページ <http://www.city.tsuyama.okayama.jp/>
(PDFファイルで全紙面を掲載しています)

発行日 毎月10日
印刷 株式会社 廣陽本社

広報つやまは、環境保護のため古紙配合率100%再生紙、大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクルにご協力ください。

1月
2004